

平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業
国内版、国際版急性胆道炎診療ガイドラインの普及と、日本と世界の实地診療・
健康アウトカム等に与える影響の検証に関する研究(H20-医療-一般-028)
(研究代表者:吉田雅博) 第2回班会議 議事録

日時：平成 21 年 9 月 19 日 (土) 7:00 - 8:00

会場：アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 46F スカイバンケット

(第 45 回日本胆道学会時に開催)

出席者 (五十音順、敬称略)：露口利夫、真弓俊彦、三浦文彦
横江正道、吉田雅博、吉田祐一

欠席者 (五十音順、敬称略)：近藤 哲、酒井裕司、炭山嘉伸
関本美穂、高田忠敬、二村雄次
平田公一、矢野晴美、竜 崇正

議事： 1) 診療ガイドライン検証に関する進捗報告 (各研究分担者)
2) 胆道炎前向き登録研究に関する報告 (研究代表者)
3) アンケート調査について
4) 事務連絡
5) その他

資料： 1) 名簿
2) アンケート調査用紙・CLASS Tokyo study 症例登録案内
3) アンケート調査報告

議事

1. 胆道炎前向き登録研究に関する報告（研究代表者）

吉田研究代表より、UM I Nシステムを用いた CLASS Tokyo study 症例登録研究の進捗について報告があった。胆道学会においても広報し、症例登録をお願いする予定であることが報告された。

2. 診療ガイドライン検証に関する進捗報告

露口研究分担者、真弓研究分担者、三浦文彦研究分担者、横江研究協力者、吉田祐一研究協力者より研究の進捗について報告があった。

詳しくは、同日に行われるパネルディスカッションにて討論することとなった。

3. パネルディスカッションの会議中のアンケート調査について

吉田研究代表より、パネルディスカッション会議中の参加者に対してアンケートを実施する旨の報告があった。

アンケート内容は、2006年の急性胆道炎診療ガイドライン国際コンセンサス会議にて、日本と世界の臨床事情が乖離している項目について行う旨の説明がなされた。

4. 事務連絡

次回会議は、本年12月ごろに、CLASS Tokyo studyの内容再検討を行う予定

平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業
国内版、国際版急性胆道炎診療ガイドラインの普及と、日本と世界の实地診療・
健康アウトカム等に与える影響の検証に関する研究(H20-医療-一般-028)
(研究代表者:吉田雅博) 第3回班会議 議事録

日時：平成 21 年 12 月 19 日 (土) 13:00 - 15:00

会場：東京八重洲ホール 101 会議室 (JR 東京駅八重洲中央口より徒歩約 3 分)

出席者 (五十音順、敬称略)：近藤 哲、酒井裕司、関本美穂、高田忠敬
平田公一、真弓俊彦、三浦文彦、矢野晴美
横江正道、吉田雅博、吉田祐一 (以上研究者)
小園太幸、杉田直子 (以上事務局)

欠席者 (五十音順、敬称略)：炭山嘉伸、露口利夫、二村雄次、竜 崇正
寺島正樹

議事： 1) 診療ガイドライン検証に関する進捗報告 (各研究分担者)
2) CLASS Tokyo study (UMIN 症例登録前向き研究) について
(1) 英語版
(2) 日本語版
3) 事務連絡
4) その他

資料： 1) 議事次第
2) 名簿
3) CLASS Tokyo 関連資料 (英語版・日本語版)
4) 研究分担者資料 (平田先生・矢野先生・吉田祐一先生)

高田委員長よりご挨拶

ガイドラインの改訂版作成を念頭に置いて研究を進めて下さい。

議事

1. 診療ガイドライン検証に関する進捗報告（各研究分担者）

矢野先生：日本感染症教育研究会でTGの普及に関するアンケートを行った。

内科医が多かった。聞いた事、見た事があるが約半数だった。

抗菌薬使用のパターンが判明した。

吉田先生：2010年3月にミュンヘンで開催されるヨーロッパ外科感染症学会でシンポジウムが開催される。座長は吉田先生、真弓先生。シンポジストは6名（日本人4名）。

関本先生：DPCデータを用いて胆嚢炎の診療の変化について検討した。

最近の死亡率は、2.0%（全症例）、0.6%（手術例）

入院から手術までの期間、在院日数は短くはなっていない。

ただし、病院数が徐々に増加しているので、経年的評価は難しい。

2. CLASS Tokyo study（UMIN 症例登録前向き研究）について

（1）英語版

（2）日本語版

- 各学会のホームページにバナーでリンクを張っていただきたい。
- アクセス法、登録法について説明。
- 個人情報については、疫学研究の指針に則り介入研究ではないので患者個人から同意書を得る必要はない。
- ただし、イニシャルは登録フォームから削除する。
- 各施設でIRBの承認が必要な場合は、書類を提供します。
- 英語版も血液検査データも必須にした方がよいか→必須として“未測定”の選択を可とする。
- 転帰：“軽快”、“胆管炎による死亡”、“他疾患による死亡”にする。
- データの単位を選択できるようにする、
- （GOT）、（GPT）を加える。
- PT-INRの%を削除する。
- WBC、PLT、CRP、PaO₂/FiO₂ ratioの単位を加える。
- 22 g→g/hに変更する。
- 22 “antimicrobial administered”に変更する。
- 6 “dopamine” → “catecholamine”に変更する。
- 17 Gram positive bacteria に “none”を加える。

- 17 を 17 と 18 に分けて、胆汁・血液中の各々について検出菌を選択するようにする。→日本語版も同様にする。
- 炎症項目にプロカルシトニンを加えるかどうかを今後検討する。

3. 事務連絡

4. その他

- 2月末で分担研究費の通帳を解約しなければならない。
- 2月末までに研究結果をまとめて報告書を作成する。

厚生労働省科学研究費補助金
地域医療基盤開発推進研究事業

国内版、国際版急性胆道炎診療ガイドラインの普及と、
日本と世界の実地診療・健康アウトカム等に与える影響の検証に関する研究
平成 21 年度 総括・分担研究報告書

平成 22 年 3 月 31 日 印刷発行

発行者 厚生労働省科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業
国内版、国際版急性胆道炎診療ガイドラインの普及と、
日本と世界の実地診療・健康アウトカム等に与える影響の検証に関する研究班
研究代表者 吉田雅博
〒272-0827 千葉県市川市国府台6-1-14
国際医療福祉大学化学療法研究所附属病院人工透析・一般外科
TEL : 047-375-1111 FAX : 047-373-4921

作 成 医学図書出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-29-8 (大田ビル)
TEL : 03-3811-8210 FAX : 03-3811-8236

